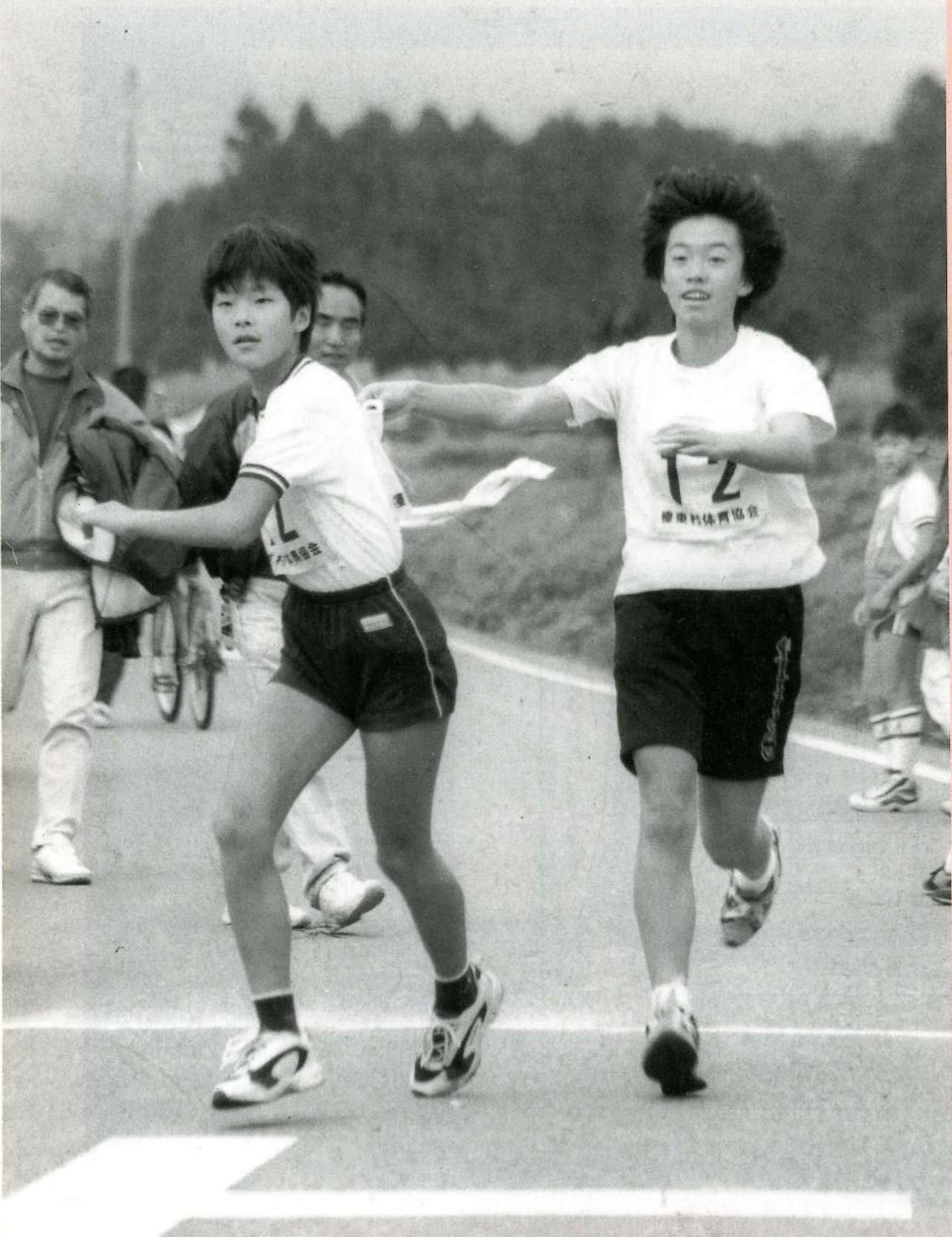


たすきでつなぐ チームワーク!

十一月十六日、村内一周コースで行われた第二十八回村民伝大会。チームの選手構成規定がないため、小学生や女性も大勢参加し、村民みなさんから声援を受けていました。(写真は第七中継所/記事は七ページ)



広報

1997年 **12**月号(No.321)

しんとう

主な内容

- 建設事業紹介..... 2~3ページ
- 村づくり産業祭..... 4~5ページ
- 村のニュース..... 6ページ
- スポーツ..... 7ページ
- 話題あれこれ..... 8ページ
- 暮らしの情報..... 9~11ページ
- こちら保健婦..... 12ページ



改築前の北小学校プール

教育施設 北小プールを建設

昭和四十一年に完成した北小学校（当時は桃井小学校）プールは、三十年にわたって子どもたちの夏の体育授業で活躍してきましたが、著しく老朽化したため、本年度改築を行っています。

新たに建設されるプールは、中学校のプールと同様のステンレス製で、長さ二十五メートル、幅十六メートル（八コース）のメインプールと、その隣には、広さ六十平方メートルのサブプールが設けられます。工法はピット方式と呼ばれているもので、メンテナンスに配慮した工法になっています。今年の水泳シーズンが終わった十月に着手した工事は、来年三月に完了し、水泳シーズンに備えます。

また、今回の工事にもない、隣接している北幼稚園の出入口についても西側へ移設しました。

土地改良事業 新井十二前地区で道路舗装



暗きょ排水工事を行う十二前地区の田

今年度から産業振興課のもとで行われているほ場整備事業は、平成八年度に面的整備Ⅱが完了した十二前地区の暗きょ排水の整備や地区内道路の舗装工事、天神川にかかる橋りょうの工事を防衛庁の補助事業によって行います。

一・六号について暗きょ排水を整備し、総延長千四百四十四メートルにおよぶ道路（主に縦道）の舗装工、同じく七百二十メートルの道路を敷き砂利で仕上げるほか、天神川に橋（幅六メートル、延長十六メートル）を架けます。事業費は、工事費や事務費を含めて約七千八百六十万円、そのうち五千二百四十万円が国の補助金となっています。

（注）面的整備：農地の区画形状を整え、その区画にあった道路、水路を整備する工事をいいます。

児童福祉 「榛東中央保育園」を 榛栄会が建設

平成10年4月に開園予定の「榛東中央保育園」が社会福祉法人榛栄会（理事長・狩野栄子さん 5区）により建設が進められています。

10月22日に起工式が行われた榛東中央保育園は、旧村営柳沢住宅跡地約1,537平方メートルの敷地に定員を現在の中部保育園と同じ60人とした鉄骨造二階建、総床面積約857平方メートルの保育園で平成10年2月に完成する予定です。

また同園では、乳児保育や延長保育、学童保育、子育て支援センターも実施することになっています。

村では、保育施設を建設する同会に対し、保育施設建設補助金として5,000万円を予算化しています。



建設中の「榛東中央保育園」

ふれあい広場(仮称)を整備 公園

第四次総合計画に基づいて、ふれあい館の西、二万九千六百八十四平方メートルの敷地に「ふれあい広場(仮称)」を整備中です。

本年八月より工事着工した同広場は、イラストに示すとおり、サッカークラウドが楽しめる多目的広場を中心に、自由運動広場やわんぱく広場を設けて、みなさんの健康増進や交流の場として、子どもたちがのびのびと遊べる場所として整備します。



本年度は10区に建設 コミュニティ併用施設

行政区単位につくられているコミュニティ併用施設（以下、コミセン）は、本年度は十区に建設されます。

防衛庁の民生安定事業で建設される十区コミセンは、鉄骨平屋建てで、床面積が二一七・八九平方メートル（六七・二五坪）、内部には集会室（六〇・五畳）のほか、小会議室（二〇畳）や調理実習室などが設けられます。

十月二十二日に起工式が行われた十区コミセンは、現在工事が進んでおり、平成十年四月より同区々民のみなさんに使われるようになります。

また、今後のコミセン建設計画については、平成十年度が二十区（防衛庁の民生安定事業）が計画されており、残る三区と十一区については、来年度以降、相馬原演習場周辺整備審議会において建設年次を審議する予定となっております。

このコーナーで紹介できなかった建設事業も数多くあります。平成六年度から着手している

上野幹線（広域農道）道路は、車線の舗装および歩道を設ける工事を延べ九十メートルにわたって行うほか、「末広橋」の掛け替え

工事を行います。なお、本年度改良する道路十路線の総延長は一三四一・五メートルにおよび、その事業費の総額は橋りょうを含めて二億二千二百五十万円となります。

昨年からは新井地区の一部で供用が始まった榛東村流域関連公

共下水道は、十区内の奥道に約三百メートル、村道へは約六百メートルにわたって下水道管を埋設します。

防災関係では、八区と九区にそれぞれ貯水能力四十メートルの防火水槽を設置する工事を行っています。

以上、誇り高き郷土をめざした主な建設事業を紹介しましたが、先月号の広報でもお知らせしたとおり道路改良や上野幹線の末広橋掛け替え工事、上・下水道などの工事が初冬から春にかけて集中します。みなさまの工事に対するご理解とご協力をお願いします。

誇り高き郷土をめざして

村内のあちこちから、明日の榛東を建設する雄音が聞こえています。誇り高き郷土をめざして平成九年度では、ふれあい広場の整備事業などに象徴される快適な生活基盤づくりや、教育施設などを充実します。このコーナーでは、平成九年度に行われている主な建設事業を紹介いたします。

第11回 村づくり産業祭

農業や商工業などの村の産業を振興するとともに、村民みなさんにも現状の姿を理解していただくこと、十一月二日と三日の二日間にもわたり、村づくり産業祭が開かれました。十一回目を迎えたことしの産業祭は、天候にも恵まれ、三日の日は朝からたくさん家族連れが訪れ、終日大にぎわいでした。会場になった総合グラウンドには、農産物や植木、白子のりなどの直売テントや、からみもち、山菜おこわ、芋煮などのサービスコーナーに長蛇の列ができるほどの大盛況ぶり。

また今回の産業祭では、特別に年金相談や村で購入した空き缶圧縮機の実演（記事は八ページ）、県動物愛護協会によるペットのしつけ方教室、村交通安全会によるシートベルト衝撃体験コーナーなども企画され、延べ四千五百人のみなさんが、村づくりにふれることができました。



つきあがった餅がみなさんに配られました



あまり見かけなくなりました、白とさねによる餅つき



受賞者の皆さん、おめでとうございます

受賞おめでとうございます 共進会・花いっぱい運動・ 優良農家を表彰

産業祭の会場に設けられた移動ステージでは、村づくりに貢献している方々への表彰式が行われました。前日、楽集センターで行われた共進会、花いっぱい運動や優良農家で表彰されたみなさんをご紹介します。

共進会 12部門延べ22人が受賞

- 農畜産物などの共進会では、次の方々が表彰されました。(敬称略)
- 【知事賞】
 - ▼岩崎充伸 (肉牛枝肉和牛部門)
 - ▼高橋一郎 (肉豚枝肉部門)
 - ▼星野三千男 (ぶどう部門)
 - ▼下田正恵 (野菜部門)
 - 【渋川農業改良普及事業協議会長賞】
 - ▼清水幸太郎 (菌茸部門)
 - 【優等賞】
 - ▼肉牛枝肉和牛部門：岩崎充伸 (10区)
 - ▼肉牛枝肉交雑種部門：村上一夫 (18区)
 - ▼肉牛枝肉乳牛部門：高橋文一 (10区)
 - ▼肉豚枝肉部門：高橋一郎 (18区)
 - ▼小山浩 (乳牛乳質部門)
 - ▼岩田和義 (野菜部門)
 - ▼小山隆弘 (鶏卵部門)
 - 【渋川地区林業振興協会会長賞】
 - ▼乳牛乳質部門：小山浩 (8区)
 - ▼ぶどう部門：星野三千男 (3区)
 - ▼菌茸部門：柳岡敏久 (4区)
 - ▼野菜部門：下田正恵 (19区)、岩田和義 (2区)、富澤善一 (14区)
 - ▼菌茸部門：清水幸太郎 (1区)
 - ▼果実部門：金井公正 (15区)
 - ▼食鳥部門：金井栄一 (同)
 - ▼鶏卵部門：小山隆弘 (8区)



楽集センターで行われた共進会のようす

花いっぱい運動 個人3人と4団体へ

- 八年目を迎えた「花いっぱい運動」優良事例表彰。今年も、個人の部に三人、団体の部に四団体が表彰されました。(敬称略)
- 【個人の部】
 - ▼狩野頼子 (5区)、重枝イキ子 (10区)、小野関祥子 (13区)
 - 【団体の部】
 - ▼第十一区長寿会 (代表：小池達雄)
 - ▼第二十一区長寿会 (代表：岡田実)
 - ▼榛東村婦人会 (代表：清水貞子)
 - ▼榛東村ボランティア連絡協議会 (代表：高橋与志夫)

優良農家 5人の方が受賞

流通機構の変化、輸入作物の増加などにより、苦況に立たされている日本農業。その逆風のなかで創意工夫と努力を重ね、農業に熱意を注ぎながら、本村の農業を支えているみなさんいます。農業の担い手を確保、育成することをねらいとして、平成三年から村農業委員会が独自に表彰している優良農家。今年も、次の方々が表彰され、副賞として伊香保温泉のペア宿泊券が贈られました。

また、区長会長 (平成六年) を務めるなど地域と行政のパイプ役としても活躍されていた。



【複合経営部門】

▼小池征雄さん (55歳 11区)

現在、タマネギ三十アールと根深ネギ三十アールなどの栽培を主体に繁殖和牛六頭も飼育。また、発酵肥料や木酢液 (炭を燃やすときにでる液体) を沼田から買い付けるなどして減農薬に工夫。奥さんのチエ子さんと二人で大変だが「野菜は特に手をかけないと良い品物はできない！」と頑張っている。



▼金井貞雄さん (63歳 4区)

年間四・五アールのイチゴを奥さんの友江さんとともに栽培。有機栽培にてイチゴの糖度をあげる工夫や苗の持久力を上げるため、堆肥はもみぬかの堆肥にこだわる。今回の産業祭果実共進会でも2等賞に入るなど好成绩を残している。



造園組合では、植木や草花の販売も行われていました

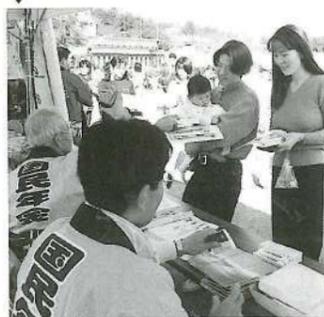


▲交通安全会によるシートベルト衝撃体験コーナーの時速70km/hの衝撃の大ささに驚いていました



▲県動物愛護協会によるペットのしつけ教室

国民年金の相談コーナーも登場



▲建設業協会のコーナーにて



みなさんのご協力により、行われたチャリティバザー。売上金の約38万円は社会福祉協議会の善意銀行により、ペットや車イスなどの福祉機器に



▼高橋一郎さん (58歳 18区)

奥さんのゆき子さんとともに約六百頭の豚を飼育、年間千二百頭もの豚を出荷しており、今回の産業祭肉豚枝肉共進会でも知事賞・優等賞を受賞。肉質を良くするために活性水を利用したり、悪臭やハエの発生をおさえる努力をしている。現在、村の養豚農家協議会の会長を務め、第十八区の区長代理としても活躍中。



郷土芸能として宿禰神社の獅子舞も披露されました



二つの会場で村民文化祭

村民の文化と芸能を紹介する「第二十七回村民文化祭」が、十一月一日から三日間、農研修館や南部コミュニティセンターを会場に開催されました。

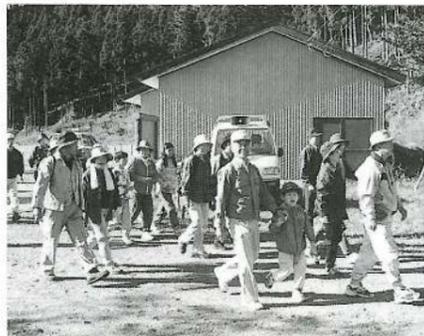
せるとともに、日ごろの学習成果を披露していただくことと企画されているこの文化祭。手芸や絵画、盆栽など、延べ五百九十二人による六百九点の作品が展示された農研修館には大勢の方が訪れ、作

創造の森を発着点に歩け歩け大会

恒例になった「健康づくり歩け歩け大会」が、十月二十六日、創造の森を発着点とし、吉岡町の船尾滝までを往復するコースで行われました。

片道約一時間のコースに、家族連れなど延べ百六人が参加。参加したみなさんは、澄みきつた秋空の下で山々の木を眺めながらそれぞれのペースで秋の林道を歩いていました。

者の思いが込められた作品に見入っていました。また二日には、南部コミュニティセンターで芸能発表会が行われ、二百二十七人が出演。会場では、13区の南美智代さんの司会によって、詩吟や舞踊など三十八のプログラムが華やかに披露されました。



次はどの札が読まれるかなあ

みなさん元気に創造の森を出発!



体育館で行われた同和教育研究会全体会のようす

南小で同和教育研究会を開催

教育機関の立場から、日ごろ取り組んでいる同和教育を関係者に知っていただくことと「榛東村同和教育公開授業研究会」が十一月十二日、南小学校において開かれました。

主催するこの研究会は、毎年、各学校、幼稚園、保育園に会場を移しながら開かれているものです。三つの教室で行われた公開授業は、国語、学活、社会の各教科にそれぞれの先生が独自に研究した差別問題などをテーマに授業が進

しんとぅカルタで交流会

村内の子ども会員の交流と郷土榛東村の文化財や産業、特色などを遊びを通して地域を学習してもらおうと「平成九年度村子供会しんとぅカルタ交流会」が十一月九

日、南部コミュニティセンターで開かれました。この交流会は、小学一、二年生を対象に実施され、各区から三人一組で構成された総勢43チームが

リーグ戦により交流を深めました。今回使われた「榛東村かるた」は、本村の名所や歴史、習俗を詠みこんだもので元北小学校教諭の小淵賢一さん(前橋市)が発案者となり、平成六年に小淵さんを中心に教育委員会で制作したもので



す。なお、今月末から正月にかけて、みなさんのお宅に配布する予定の「榛東村ガイド(榛東清爽)」で約半数の二十二枚のかるたを紹介しています。ぜひご覧ください。

都市農村交流

そば打ちに挑戦

都市住民との交流を村の活性化に役立てようと、取り組んでいる都市農村交流事業。この事業の一環として、「ウインナーソーセージづくり・さつまいも掘り・そば打ち体験」が十月二十五日に行われました。しんとぅ村都市農村交流推進協議会と村の共催によって行われたこの体験に埼玉県や東京都などに住む三十八人の方が参加し、いも掘りやそば打ちを楽しみました。



「名人」のそば打ちを真剣に見る参加者

朝、ふるさと公園に集合したみなさんは、農畜産物加工処理施設(夢工房)へ移動し、工房長の岸廣子さん(2区)の指導によりウインナーソーセージづくりに挑戦した後、ふるさと公園東の畑でさつまいも掘りを体験しました。大きないもが掘れ、子どもたちは大喜びでした。研修館に場所を移してのそば打ちでは、村内で名人と呼ばれている方三人が指導にあたり、一人ひとりが自分のそばを打っていました。

そばを打っているご主人。そばを打っている人もいました。そばを打っている人もいました。そばを打っている人もいました。



出来上がったウインナーを棒にかけ、この後蒸製に



大きな芋が掘れてびっくりした子どもも



自分のそばが打ち終わった人には、「名人」の打ったそばの試食が。みなさん美味しそうに食べていました

村長杯村民ゴルフ大会

村長杯村民ゴルフ大会が、11月5日、榛名カントリークラブで行われました。

女性4名を含む85人が参加したこの大会は、一般の部とシニアの部に分けたシンペリア方式で行われ、午前中天候にも恵まれ、まずまずの調子だった選手も午後の風にはスコアメイクに苦勞したようです。結果は次のとおりです。(敬称略)

【一般の部】▶優勝・清水勝己(11区/グロス81 ハンディ12 ネット69) ▶準優勝・浅見利明(9区)

【シニアの部】(女性および55歳以上の男性が対象)▶優勝・牧口精兵(9区/グロス96 ハンディ26.4 ネット69.6)▶準優勝・神田照雄(20区) 【ベストグロス】柴本純一(6区)



一般の部優勝の清水さん(左)とシニアの部優勝の牧口さん(右)

村民駅伝大会

3区が連続優勝

第28回村民駅伝大会が11月16日、北小校庭を発着点とする村内一周コース(25.1km)で行われました。

昨年同様、チームの選手構成規定をなくして行われた今回の大会に17チームが参加。女性や小学生の選手を含め、136人の選手が、みなさんの声援を浴びながら健脚を競い合った結果、3区チームが2位の12区チームに3分46秒の差をつけて、2年連続3度目の優勝カップを手に入れました。成績は次のとおりです。(敬称略)

【区対抗】優勝3区(タイム1時間31分37秒/選手・出走順…石川英治、星野雅彦、岩田友則、岡本亮、須藤仁志、野口健一郎、星野康仁、須藤芳和)、

準優勝12区、三位13区、四位14区、五位2区、六位16区

- 【区間賞】▶第一区間…中村 篤(12区)▶第二区間…星野雅彦(3区)▶第三区間…滝沢 卓(12区)▶第四区間…岡本 亮(3区)▶第五区間…谷口武志(12区)▶第六区間…田村真一(7区)▶第七区間…飛鳥井正幸(13区)▶第八区間…一倉 学(2区)



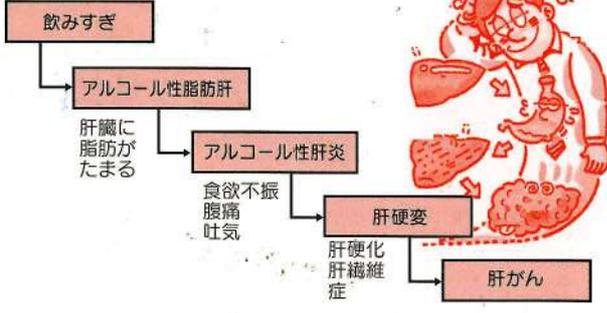
2年連続優勝の3区チームの選手とスタッフのみなさん

お酒と上手につきあうには



忘・新年会のシーズンになり、お酒を飲む機会が増えてきます。「百葉の長」ともいわれるアルコールですが、飲み過ぎればアルコール性肝臓病はもとより、胃腸障害や肥満、高脂血症、アルコール依存症などの障害を引き起こす要因となります。

●アルコールによる肝臓障害



⑤週二回の休肝日をつくる
肝臓をアルコールから少しでも開放しましょう。

④食べながら飲もう
胃壁を守り、吸収を抑え、肝臓の負担を軽くします。

- ①適量できりあげる
晩酌ならば一合程度にしましょう。
- ②空腹で飲まない
空腹はほろ酔いの敵。何も入っていない胃をアルコールが素通りし、小腸で急速に吸収され酔いの回りが早くなります。空腹で飲まざるをえないときは、牛乳かチーズを口にしましょう。
- ③自分のペースで楽しく飲もう
強制はしない

- ⑥強いアルコールは薄めて飲む
強いアルコールは胃壁を刺激し、胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍の原因となります。
- ⑦一気飲みはしない
血中アルコール濃度を急激に上げ、急性アルコール中毒となり危険です。
- ⑧薬と一緒に飲まない
肝臓では、アルコール処理を優先するので、薬は体に残り、副作用が増大し危険です。



⑨定期健診を受けましょう
肝臓は沈黙の臓器。肝機能を調べるためにも定期的な健診が必要です。

おめでた

おくやみ

○お誕生おめでとごさいます
※カッコ内は保護者の名前

- 女の子
- 7区 榎原 由利香ちゃん 10月13日生
 - (孝夫さん)
 - 3区 渡邊 菜里奈ちゃん 10月16日生
 - (隆幸さん)
- 男の子
- 17区 森田 蒼ちゃん 9月23日生
 - (幸夫さん)
 - 6区 金子 侑樹ちゃん 10月1日生
 - (憲二さん)
 - 8区 松下 直樹ちゃん 10月5日生
 - (修さん)
 - 8区 川野 晃太ちゃん 10月8日生
 - (知巳さん)
 - 1区 星野 拓海ちゃん 10月11日生
 - (康男さん)
 - 5区 樋口 敦也ちゃん 10月11日生
 - (敬夫さん)
 - 13区 高原 脩平ちゃん 10月17日生
 - (好臣さん)

- 5区 後藤 歩ちゃん 10月23日生
- (勵次さん)
- お悔やみ申し上げます
- 6区 阿久澤 ツネさん 81歳
- 8区 小林 隆子さん 44歳
- 8区 高橋 セツさん 77歳
- 9区 小山 傳七さん 81歳
- 9区 中村 キノさん 73歳
- 10区 渡邊 和夫さん 26歳
- 10区 青木 幸雄さん 48歳
- 16区 小川 ハナさん 90歳
- 18区 伊与久 勲さん 62歳

(この欄に掲載を希望しない場合は、届け出のとき窓口までその旨お話しください)

お詫びと訂正

広報11月号14ページの群馬県最低賃金の記事で「二時間：六百円」とあったのは、「二時間：六百二十円」の誤りでした。お詫びして訂正します。



ふれあい館を美しく

村のボランティア連絡協議会(会長-高橋与志夫さん・20区)では、11月18日、ふれあい館に葉ぼたんを植え付けました。今回植えられた葉ぼたんは、会員が種をまき育てたもので、60人の会員により約1,300株が植えられました。

村内の交通事故

(11月末日現在の累計)

事故件数	60人 (+3)
死者	1人 (+1)
傷者	81人 (-3)

※()は前年同期対比

シートベルトは必ず着用しましょう

人口と世帯

(11月1日現在)

総人口	13,264人 (+73)
男	6,840人 (+55)
女	6,424人 (+18)
世帯数	4,115人 (+65)

()は対前月

こ・ち・ら 編集室です
わたしたちの村に新たに転入してくる方や、村を訪ねてくる視察者のみなさんに本村のことを知っていただく村勢要覧。広報係では、これを四年に一度のサイクルで制作しています。前任の方がプランを立て、昨年の夏から取材が始まった今回の要覧も、途中、担当者の人事異動などで発行が遅れてしまいましたが、どうにか発行のめどが立ちました。暮れから正月にかけてみなさんのお宅にも配布できる予定です。お正月、こたつにあたりミカンでも食べながらご覧になってください。(早川)